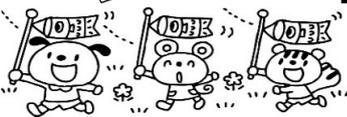


遊びに来てね



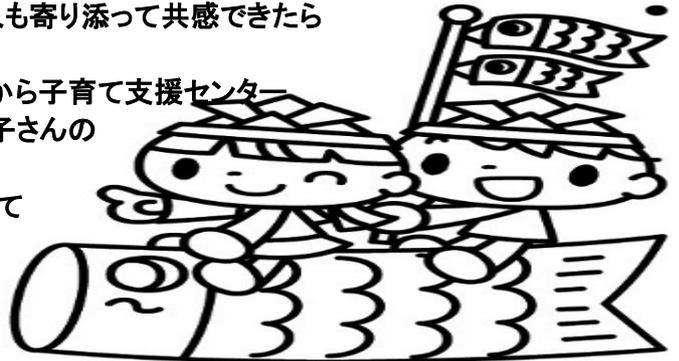
りずむ
 西興部村地域子育て支援センター『里住夢』
 〒098-1501 紋別郡西興部村字西興部108-1 里住夢
 〈問い合わせ先〉西興部村役場 住民課福祉係
 (0158) 87-2114



4月中旬、村でもこいのぼりの姿を見かけるようになりました。お散歩中子どもたちも気づいて「あ!」と立ち止まりこいのぼりを見つめる場面があったかと思えます。何か気づいて声をあげる、その気づきに大人も寄り添って共感できたらいいですね。

新型コロナウイルス感染症予防のため、4月20日から子育て支援センター『里住夢』を閉所しています。前回の閉所も含めてお子さんの遊びの場を開放出来ず申し訳ありません。

早く状況が落ち着いて『里住夢』が始まることを願っています。



ウイルスや細菌の通り道をシャットアウト!

せきやくしゃみ、会話のしぶきでうつります

感染している人のせきやくしゃみ、会話で飛び散るしぶき(飛沫)には、病原体が大量に含まれます。しかも、そばにいる人がしぶきを吸い込んで感染するだけでなく、しぶきが周囲の物に付着し、そこから感染が広がることもあります。

対策
 マスクやティッシュでせきをブロック
 せきやくしゃみのしぶきを広げないためには、マスクやティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。

対策

手を洗って、病原体を取り除く

そこにふれた手に、病原体がつります。

病原体の付いた手で、口や鼻、目などにふれると、そこから感染します。

物を介してもうつります

口から飛び出したしぶきとともに、病原体が周囲の物に付着します。

対策
 拭き掃除や消毒で病原体を取り除く

手洗いは最も手軽で確実な予防法です

手を介して感染するのを防ぐためには、手洗いがいちばん。帰宅したらお子さんと一緒に、せっけんを使ってしっかり手を洗いましょう。最初にふれる水道のハンドルにも病原体が付く可能性があるため、ハンドルをすすぐのも忘れずに。



洗い残しに注意する
 手を洗うとき、手のひらと甲をさつこする程度では不十分。爪の間や手首も洗いましょう。親指も忘れやすいので、反対の手で親指を握ってねじるように洗います。

タオルの共用は避けましょう

手を洗っても、タオルを介してうつることがあります。家族内での感染を防ぐには、タオルを個別使用にしたり、使い捨てのペーパータオルを利用したりする方法も。



早く発見

知って防ごう

聞こえのトラブルと耳のけが

音を聞く力は、言葉を覚えコミュニケーションの力を育てるうえで欠かせません。小さな子どもは、「聞こえにくい」ことに気づきにくいので、周囲の大人が、子どもの耳や聞く力に目を配りましょう。また、耳は「子どもが異物を詰める」「耳掃除だけがをする」などのトラブルも多いので注意しましょう。

聞こえの悪いサインに注意しましょう

後ろから呼んでも反応しない



テレビを近くで見たり、音を大きくしたりするようになった



これらは、耳の聞こえが悪くなっているサイン。耳鼻咽喉科などでチェックしてもらって安心です。

耳掃除は無理しないで



耳の中の汚れや耳あかは、自然に外に送り出されるので、入り口付近を綿棒などで拭うだけでもきれいになります。耳掃除は、明るい場所で、周囲にはかの子どものいないときに行いましょう。

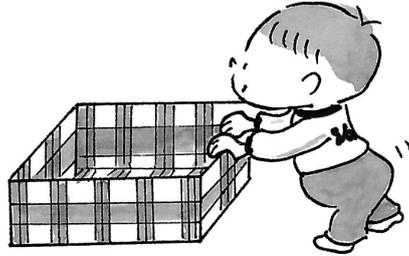
おねがい

里住夢再開の際は、別紙『開放日の利用に関するお願い』を守って利用して下さい。



遊びの紹介

おうちでも楽しんで下さいね。



かんたんなお手伝い 真似を楽しむ。

・段ボール1つあれば出たり入ったりが楽しめますよ。ラップの芯、新聞紙を棒状にした物があれば、太鼓に早変わり。またがれば乗り物にもなります。穴を開ければ、いろいろなものを入れていたずら遊び。大きな箱ならお家にもなりますね。そこにダイナミックに殴り描きやシールを貼って楽しむこともできます。



・タンバリンがなくてもハイタッチで楽しめますよ。

